

# Special Jazz Live 海野俊輔 Organ Trio

— 海野俊輔 (ds) 西口明宏 (ts) 宮川純 (org) —

ホールにうずまぐハッピーな音の波をたのしみませんか

Shunsuke Umino (ds)

Jun Miyakawa (org)

Akihiro Nishiyuchi (ts)



2017

11.17 Fri

開場 18:30 開演 19:00

<会場>

岡崎市図書館交流プラザ Libra ホール

<入場料>

一般 / 2,000 円 ● 中高生 / 1,000 円  
小学生 / 500 円 ● 未就学児 / 無料

全席自由  
(100席)

飲食持ち込み可

チケット取扱場所

Grooving Jazz-ami (グルーヴィング ジャミ) / 090-7918-0094 (小椋)

- 主催 / Grooving Jazz-ami (グルーヴィング ジャミ)
- 問合せ先 / Grooving Jazz-ami (グルーヴィング ジャミ) jazz-ami@nifty.com 090-7918-0094 (小椋)
- 後援 : 岡崎市、岡崎市教育委員会、ジャズの街岡崎発信連絡協議会

# Special Jazz Live 海野俊輔 Organ Trio

## PROFILE



### 海野 俊輔 (ds)

1979年、富山県魚津市生まれ。

大学入学後にジャズドラムをはじめ、原大力氏に師事する。大学在学中からプロとしての活動を始め卒業後に活動を本格化。2004年、横浜ジャズブロードコンペティションに出場し、海野雅威トリオでグランプリ及び市民賞を受賞。世良譲のグループを経て、これまでJon Hendricks、Vladimir Shafranov、MALTA、今陽子、伊藤君子、山下洋輔、チャリート、向井滋春、峰厚介、山口真文、川嶋哲郎、原朋直、竹内直、近藤和彦、山田稷、片岡雄三、山本剛、鈴木良雄、吉岡秀晃、TOKU、金子雄太、太田剣、小林桂、SOIL&"PIMP"SESSIONS、矢野沙織、平賀マリカ、寺久保エレンらと共演する。

2012年、堀秀彰(P)トリオで韓国テグInternational Jazz Festivalに出演。

2013年に中川英二郎(Tb)カルテットでパリ公演を行うなど海外でも活躍の場を広げている。

現在、中村健吾グループ、植松孝夫カルテット、浜崎航&松本茜 Big Catch、

三木俊雄トリオなどのグループの他、自己のバンドなど幅広く活動中。



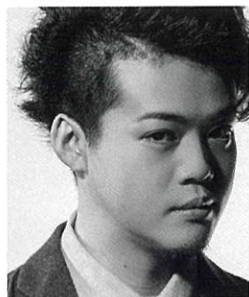
### 西口 明宏 (ts,ss)

1980年兵庫県出身。甲南中学入学と同時にピックバンドジャズに出会いテナーサックスを手にし、18歳より小曾根啓氏にサックスを師事、京阪神エリアで演奏活動を始める。

2003年にポストンパークリー音楽学院より奨学金を獲得、同年渡米。在学中はGeorge Garzone(Sax.)、Frank Tiberi(Sax.)にサックスを師事。Joe Lovano(Sax.)、Hal Crook(Tb)にインプロビゼーション論、アンサンブル学を師事する。2006年卒業後活動拠点をニューヨークに移し、この間に多くのミュージシャンと出会いセッションを重ねるとともに、自己グループによるNYライブハウスでのレギュラー演奏を行う。また、映像やダンスなど他ジャンルとの共演、即興音楽、ラテン音楽、ミュージカルでの演奏など幅広く活動する。

2010年にはニューヨークでの活動から東京に拠点を移し新たなプロジェクトを開始。同年にNYでのグループでの録音によりレーベルD-Musicaより、デビューアルバム「Tre Agrable」をリリース。ジャズ雑誌jazzLife2010年のベストアルバムを発表するコーナー【JAZZ LIFE DISC GRAND PRIX】で1位に選ばれるなど好評を得る。続いて2013年には2作目となる「PINGO」をリリース。

現在は自己バンドPINGO(安カ川大樹、ハクエイキム、大村亘)をはじめ安カ川大樹(B.)、大坂昌彦(Drs.)、大村亘(Drs.)、中林薫平(B.)、中村恵介(Tp.)、荻原亮(Gt.)、海野俊輔(Drs.)などさまざまなグループに参加し都内を中心に活動。2014年にはブルーノート75周年記念ライブのメンバーに抜擢され、日野皓正(Tp.)、山中千尋(Pf.)、ロンカーター(B.)、ジーンジャクソン(Drs.)とのグループでブルーノート東京に出演、好評を得る。画家 柏原晋平氏とライブペントングでの共演など幅広く活動するとともに後進の育成など精力的な活動を行っている。



### 宮川 純 (org)

1987年生まれ、愛知県出身。5歳でエレキーンを始めてからジャズ、フュージョン、ロックなどに傾倒。高校卒業後本格的に音楽家を志し、甲陽音楽学院名古屋校に進学。ジャズ・ピアノを水野修平、竹下清志両氏に師事。在学中より小濱安浩バンドなどでのライブ活動、nobody knows+、S.B.B.のレコーディングへ参加するなど、名古屋のシーンで徐々に頭角を現す。

2009年、21歳でデビュー・アルバム「Some Day My Prince Will Come」をVictor Entertainment (JVC)よりリリース。その後活動の拠点を東京に移し、2012年2ndアルバム「I Think So」(Altered)をリリース。

2015年、3rdアルバム「The Way」をT5Jazz Recordsよりリリース。黒田卓也、石若駿など現在最注目ミュージシャンらを擁し、Jazzをベースにしながらも様々な要素を取り入れた意欲的な音作りで「日本のジャズ新時代を告げる重要作」と評される。各メディアにも多く取り上げられ、同アルバムからJB's PoemがDJ大塚広子氏のコンピレーション「Piece The Next Japan Night」に収録されるなど注目を集めている。

その作曲能力も高く評価され、noon、マヤ・ハッチ、グレース・マヤ、大坂昌彦、小林陽一、吉田サトシなどのアルバムに自己の楽曲及びアレンジを提供。2015年夏の爽健美茶(コココーラ)の「爽健美音キャンペーン」でも音楽を担当した。

また自己グループの活動以外に、TOKU、土岐英史、市原ひかり、多田誠司などのバンドメンバーとして国内ジャズ・シーンの第一線で活動する一方で、「ルパン三世」のサウンドトラックを手がける大野雄二氏率いる「大野雄二 & Lupintic Six」や元PE'Zの門田Jaw晃介の主催する「BERB」、その他、佐藤竹善、土岐麻子、Zeebraらの作品のレコーディングなどにも幅広く参加。多様な鍵盤楽器を同等に扱える柔軟な音楽センスと確かなテクニックで今後の活動にもますます注目を集める新鋭ピアニスト、オルガニスト、キーボーディストである。



岡崎市図書館交流プラザ

<http://www.city.okazaki.aichi.jp/libra/>

お問合せ先

岡崎市図書館交流プラザ

〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地

TEL 0564-23-3100

